

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家情報」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

また当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしています。



<https://www.alfresa.com/ir/index.html>



「統合報告書 2020」

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



alfresa
アルフレッサ ホールディングス株式会社

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresa group

株主のみなさまへ

2021年3月期 第2四半期報告書

(2020年4月～2020年9月)

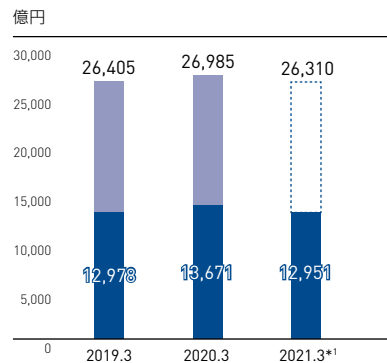
証券コード 2784

連結財務ハイライト

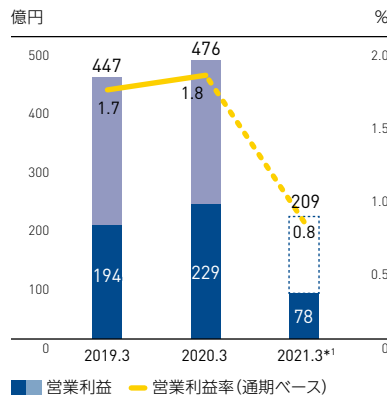
■ 第2四半期 ■ 通期

(注) 医薬品等製造事業の企業結合(2019年3月1日)の取得原価配分に関する暫定的な会計処理を確定したため、2019年3月期財務諸表の数値を遡及修正しています。

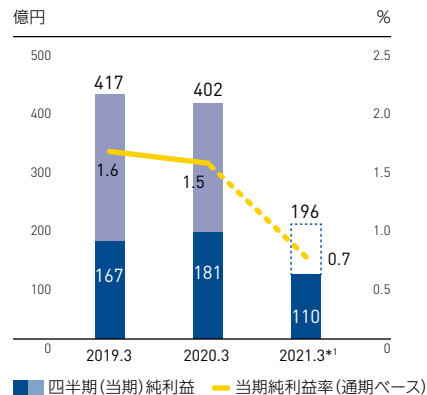
売上高



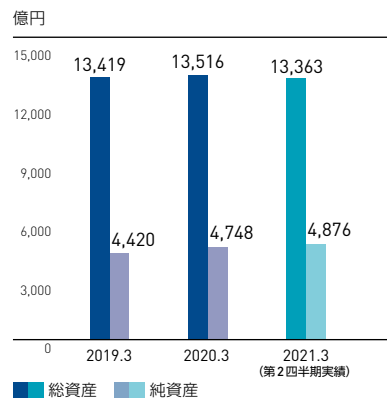
営業利益・営業利益率



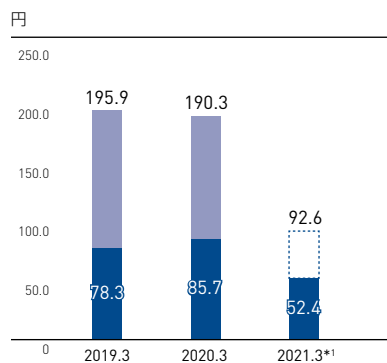
四半期(当期)純利益・当期純利益率*2



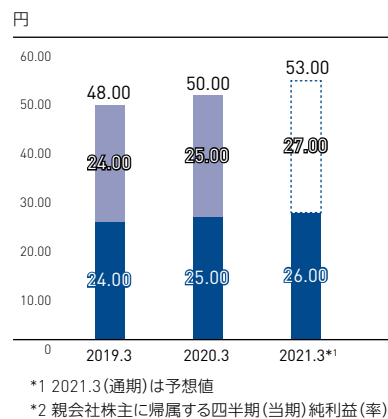
総資産・純資産



1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)



1株当たり配当金



配当について

配当につきましては、連結業績を基準に財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)2.3%以上を基本方針としております。

この方針に基づき、2021年3月期は中間配当金を26円といたしました。また期末配当金は27円を予定しており、年間配当金は合計53円を予定しております。

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

TOP MESSAGE



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、社会全体で感染拡大防止の徹底と新たな生活様式への対応が求められています。当社グループは医療に関わる企業として、引き続き従業員の健康に配慮しながら医療機関への必要な商品の安定供給に努めています。

当社は、本年4月の薬価改定とコロナ禍における事業への影響(患者様の受診抑制や医療機関への営業活動の制限など)により、医療用医薬品等卸売事業、医薬品等製造事業、医療関連事業(調剤薬局事業)において減収減益となりました。セルフメディケーション卸売事業では、感染予防商品等が伸長した一方でインバウンド需要の低迷により減収でしたが、販

売管理費の削減により増益となりました。その結果、2021年3月期第2四半期の連結業績は、売上高1兆2,951億円(前期比5.3%減)、営業利益78億円(同65.7%減)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益110億円(同38.8%減)となりました。配当は、期初の予定通り中間配当金26円としました。

上期を終えて、業績は若干回復傾向にあるものの、完全回復には時間を要すると考えています。そのため、当社は本年8月、2021年3月期通期の連結予想を下方修正しました。なお、配当予想については安定配当継続の基本方針のもと、年間配当金53円を維持しています。

この厳しい環境で経営基盤の強化と経営資源の有効活用を図るため、当社は来年4月、セルフメディケーション卸売事業および調剤薬局事業において、連結子会社等をそれぞれ経営統合する予定です。

また、既に報道されております通り、本年10月13日、連結子会社であるアルフレッサ(株)が東京地方検察庁ならびに公正取引委員会の捜索を受けました。これは、昨年11月の公正取引委員会の立入り調査に続くものです。当社は引き続き捜査に全面的に協力してまいります。長くご心配をおかけしていますことに改めてお詫び申し上げます。

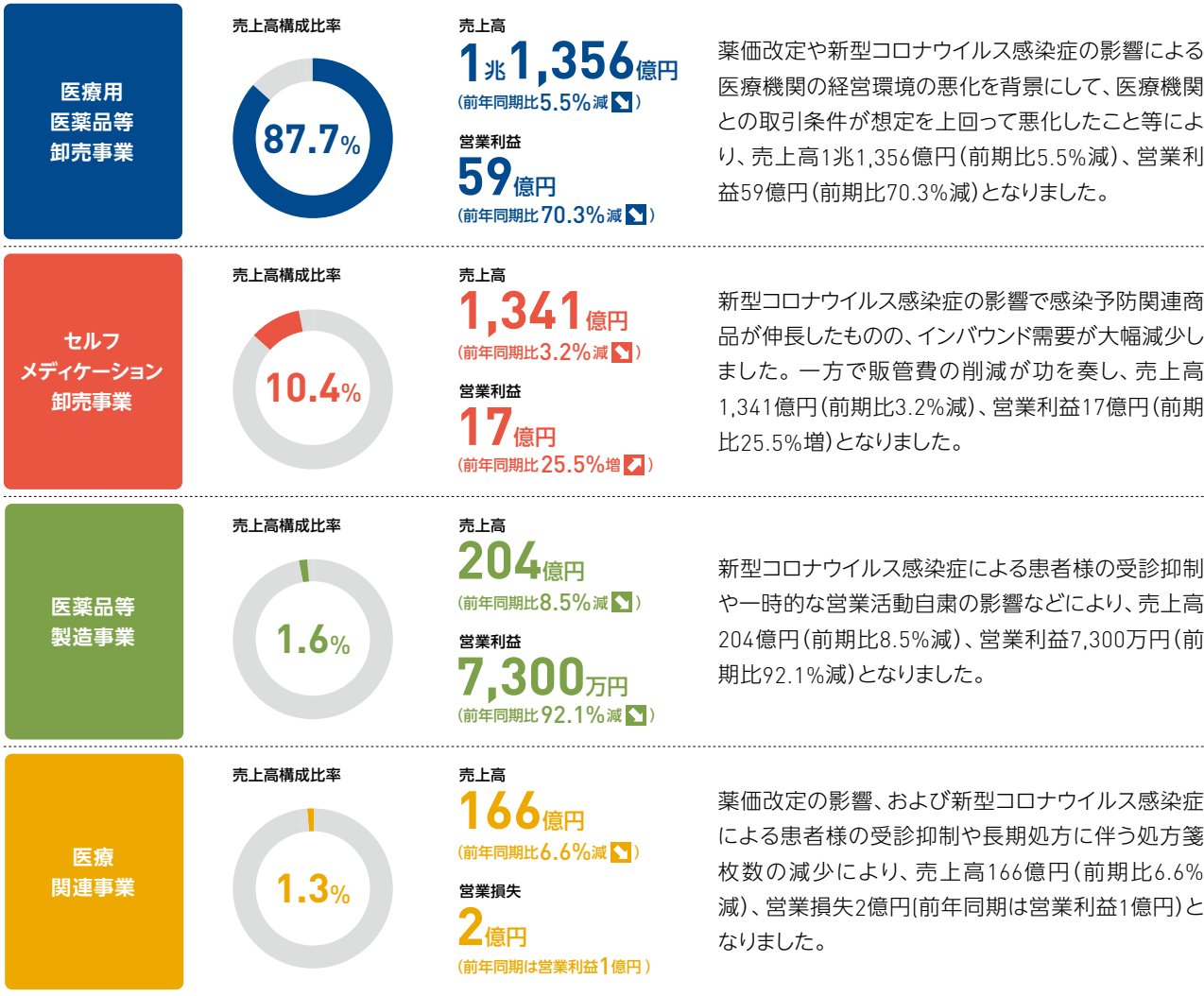
以上の状況を踏まえ、当社は信頼回復に向けて本年5月に発表したガバナンス強化策を徹底するとともに、人々の健康を支える企業グループとして、お得意先様のニーズに合わせた商品やサービスを誠実に提供してまいります。今後とも、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

荒川隆昭

第2四半期の事業別業績

連結売上高 **1兆2,951億円** (前年同期比5.3%減) 連結営業利益 **78億円** (前年同期比65.7%減)



事業トピックス

事業の拡充と発展

東北アルフレッサ
郡山物流センター稼働

2020年9月、東北アルフレッサ(株)は、南東北エリアの最新鋭物流拠点として「郡山物流センター」を稼働しました。PIC/S GDP*に準拠するこの物流センターは、デジタル・アソート・システム(DAS)などの最新鋭の出荷システムを導入し、約2万7千品目の商品を扱っています。またBCP(事業継続計画)体制に優れ、免震構造の採用のほか、72時間稼働の非常用発電機や建物屋上のヘリポートの設置などにより、大規模災害発生時に営業エリア外への医薬品供給も可能となっています。

*PIC/S GDP: 医薬品の流通過程における温度管理、衛生管理、各種手順書等の作成等に関する国際基準



ヤマトロジスティクス(株)との
相互協力・業務提携

アルフレッサ(株)は、2020年6月、ヤマトロジスティクス(株)と遠隔処方領域における調剤薬局向けサービス開発の共同研究や営業支援等に関して相互協力することで合意しました。さらに同年7月、両社は医療用医薬品、一般用医薬品等のヘルスケア商品の共同配送スキームの構築に向けた業務提携契約を締結しました。これらは、2019年1月にアルフレッサ(株)とヤマト運輸(株)が共同で設立した「医薬品流通研究会」から生まれました。地域医療の充実と労働人口不足等の社会課題の対応に向けて引き続き協力していきます。

神戸再生医療流通ステーションの開設

アルフレッサ(株)は、2020年10月、「神戸再生医療流通ステーション」(兵庫県神戸市)を開設しました。これは、2018年8月に開設した「殿町再生医療流通ステーション」(神奈川県川崎市)に続くもので、西日本に拠点を持つ製薬企業やバイオベンチャー企業との連携を強化し、製品の治験から上市までの全ての過程をサポートします。また、高品質な流通管理体制が求められる再生医療等製品の流通におけるBCPIにも対応します。

再生医療 ベンチャー企業との 資本提携

2020年6月、アルフレッサ(株)は、再生医療等製品の開発ならびに開発製造受託を行うファーマバイオ(株)と資本提携したことを発表しました。

この提携により、同社が開発中の自家細胞型再生医療等製品の流通および販売に関する優先交渉権を獲得しました。また本件をモデルケースとして、アルフレッサ(株)の殿町再生医療流通ステーションにおける自家細胞型再生医療等製品のサプライチェーン体制を確立していきます。

オンライン診療システムの開発企業との資本提携

2020年7月、アルフレッサ(株)は(株)インテグリティ・ヘルスケアとの資本提携を発表しました。

同社は、モニタリング・問診・診療の機能を持つオンライン診療システム「YaDoc(ヤードック)」を開発し、医療機関に提供しています。アルフレッサ(株)は同社とYaDocを活用した新しいビジネスモデルの共同検討・共同開発を行い、自社の医薬品や医療機器等の販売と組み合わせた事業シナジーを追求していきます。

遺伝子治療 ベンチャー企業との 資本提携

2020年6月、アルフレッサ(株)は、遺伝子治療技術の研究開発および治療薬の開発、製造などを行う(株)遺伝子治療研究所と資本提携したことを発表しました。

同社の技術は、これまで十分な治療方法がなかった難病や希少疾患に対する新たな治療方法に利用されることが期待されています。

アルフレッサ(株)は、同社の製品化を支援するだけでなく、殿町再生医療流通ステーションを活用して同社製品の輸送手法の構築と流通の支援でも協力していきます。



写真提供：(株)インテグリティ・ヘルスケア

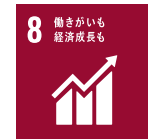
持続可能な社会への貢献

持続可能な開発目標(SDGs)とは、国連で採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標で、17のゴール・169のターゲットから構成されています。アルフレッサグループは、グループ理念に合致した特に3つのゴールを目指しサステナビリティ経営を推進していきます。



すべての人に健康と福祉を

グループ全体で誠実に事業活動を推進することで、すべての人の健康に貢献していきます



働きがいも経済成長も

ダイバーシティ推進、人づくりや働きがいのある職場づくりなどを通じて従業員満足度を高め、また革新技術の活用などによりさらなる経済成長を目指します



住み続けられるまちづくりを

地域包括ケアシステム構築への貢献に加え、災害時でも医薬品の流通を止めないBCP(事業継続計画)を整備しています

アルフレッサグループ 「ダイバーシティ方針」を策定しました

アルフレッサグループは、多様な人財がいきいきと働く職場環境づくりを進めることで、個人の成長と幸せを追求するとともに、グループ全体の持続的な成長を図ります。

アルフレッサグループ ダイバーシティ方針

アルフレッサグループは、
多様な人財を積極的に受け入れ、
多様な働き方を選択できる環境を整え、
多様な才能を大切にします。
共に働くすべての人が、
いきいきと活躍し能力を最大限発揮でき、
挑戦し続ける企業文化を醸成します。

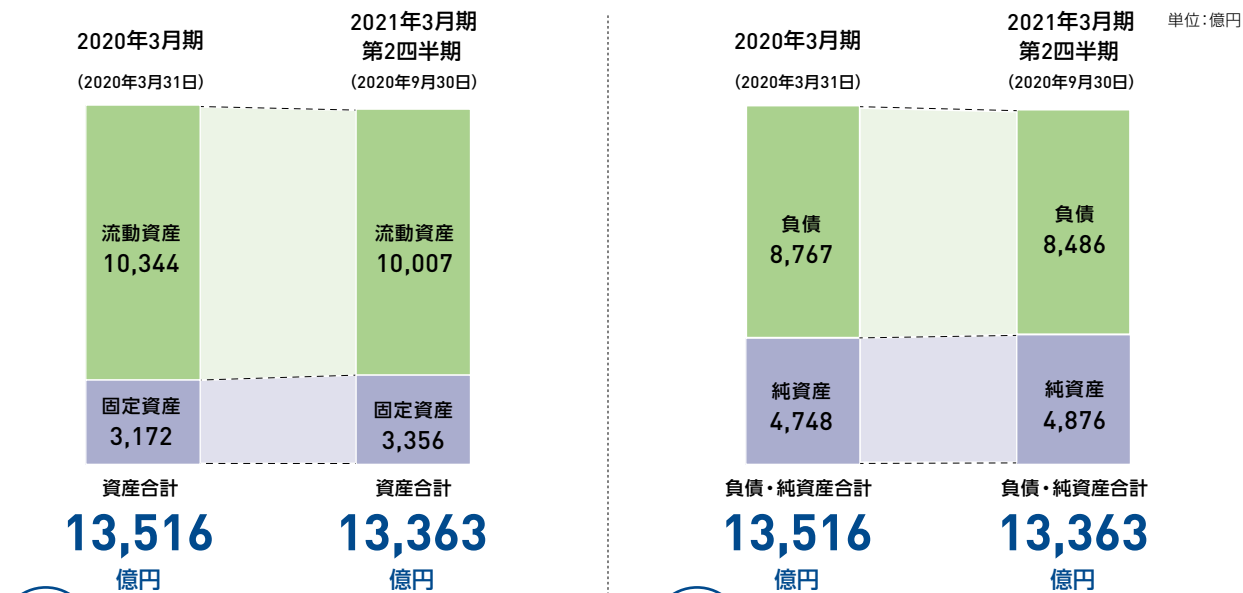
「えるぼし(3段階目)」認定を取得しました

アルフレッサ ファーマ(株)は、2020年6月、厚生労働大臣が女性活躍推進法に基づいて女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等が優良な企業を認定する「えるぼし」認定をアルフレッサグループで初めて取得しました。同社は、「採用」、「継続就業」、「労働時間等の働き方」、「管理職比率」、「多様なキャリアコース」の項目のすべてにおいて基準を満たし、3段階目の「えるぼし」の認定を取得しました。



第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

四半期連結貸借対照表



POINT 資産

資産は2020年3月期末と比較して、152億円の減少となりました。

流動資産: △337億円

現金・預金・有価証券	△351億円
たな卸資産	+23億円

固定資産: +184億円

有形固定資産	+61億円
投資有価証券	+131億円

POINT 負債・純資産

負債は2020年3月期末と比較して、280億円の減少となりました。

流動負債: △294億円

支払手形・買掛金	△214億円
未払法人税等	△37億円
賞与引当金	△15億円
その他	△27億円

固定負債: +14億円

純資産は2020年3月期末と比較して、127億円の増加となり、自己資本比率は36.5%となりました。

純資産: +127億円

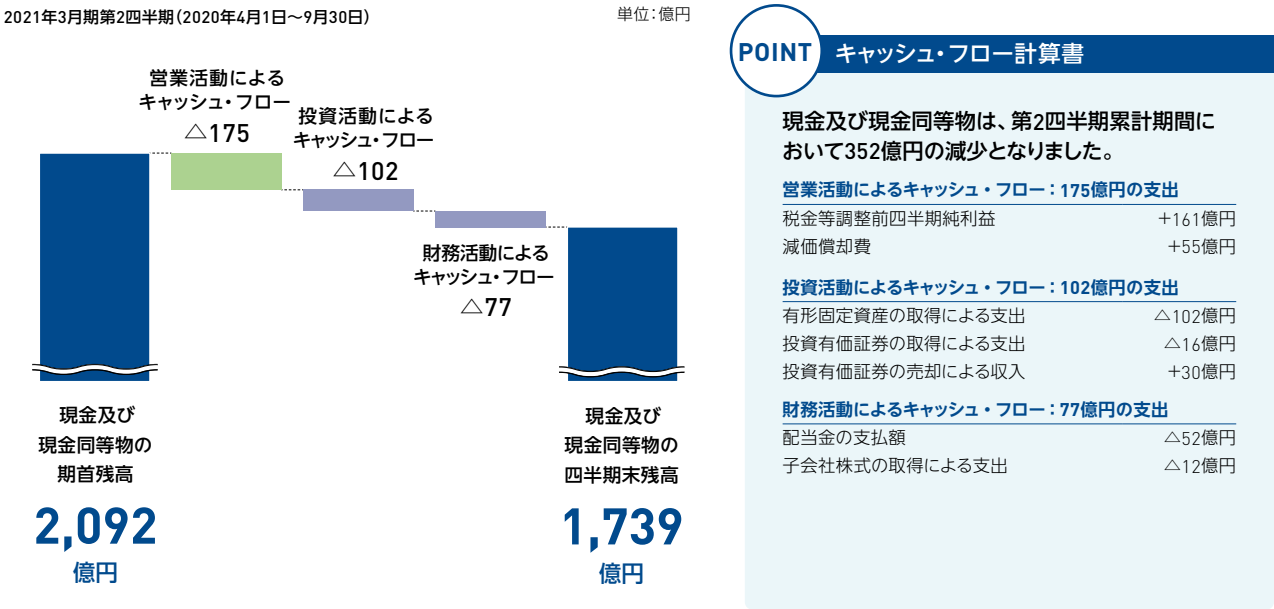
利益剰余金	+58億円
その他有価証券評価差額金	+83億円

四半期連結損益計算書および業績予想

科目	2020年3月期 第2四半期 (2019年4月1日～9月30日)	2021年3月期 第2四半期 (2020年4月1日～9月30日)	増減額	通期予想
売上高	1,367,155	1,295,126	△72,028	2,631,000
売上総利益	102,143	85,214	△16,928	181,000
営業利益	22,909	7,858	△15,051	20,900
経常利益	27,169	13,559	△13,609	31,300
四半期(当期)純利益*1	18,129	11,097	△7,032	19,600

*1 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

四半期連結 キャッシュ・フロー計算書



株式情報（2020年9月30日現在）

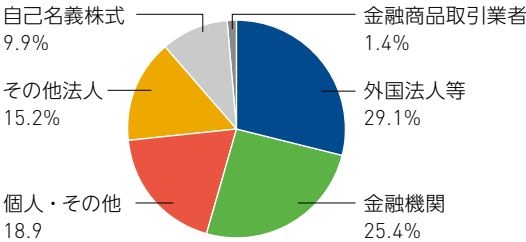
株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	10,445名

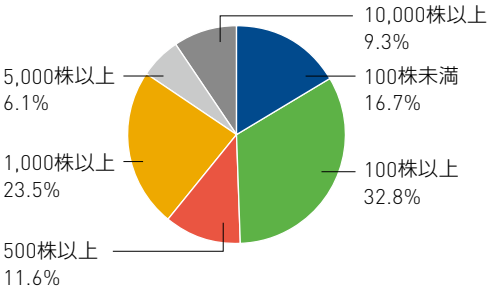
大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	23,344	—
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	14,668	6.9
3	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	9,118	4.3
4	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,460	2.6
5	エーザイ株式会社	4,602	2.2
6	株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	4,562	2.2
7	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,036	1.9
8	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,908	1.8
9	野村信託銀行 (福神家信託口)	3,800	1.8
10	株式会社日本カストディ銀行 (信託口7)	3,435	1.6

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



会社概要（2020年9月30日現在）

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	12,245名 (連結)
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の 卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤 薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う 子会社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉薬
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社
- 株式会社茂木薬品商会

取締役および監査役

取締役会長	久保 泰三
代表取締役社長	荒川 隆治
取締役	泉 康樹 (副社長)
取締役	岸田 誠一 (専務執行役員)
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役	福神 雄介
取締役 (社外取締役)	八剣 洋一郎
取締役 (社外取締役)	原 大
取締役 (社外取締役)	木下 学
取締役 (社外取締役)	竹内 淑恵
常勤監査役	桑山 賢治
常勤監査役	尾崎 正和
監査役 (社外監査役)	神垣 清水
監査役 (社外監査役)	加藤 善孝
監査役 (社外監査役)	伊東 卓

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アポロメディカルホールディングス株式会社
- 株式会社日本アポック

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社

格付「A+ [安定的)」を維持しました

2020年8月、(株) 格付投資情報センターによる当社の発行体格付が更新されました。「A」 から「A+」に変更された前回 (2019年6月)に続き、「A+ [格付方向性: 安定的)」を維持しました。今後とも投資家のみなさまに信頼される企業となるべく、財務基盤を維持してまいります。